



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成30年7月31日

上場会社名 株式会社ソルクシーズ 上場取引所 東
 コード番号 4284 URL https://www.solxyz.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 章
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 金成 宏季 TEL 03-6722-5011
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	6,446	△8.0	221	△5.5	229	△41.8	126	△47.1
29年12月期第2四半期	7,009	11.4	234	△13.9	393	74.6	239	139.3

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 1,708百万円 (345.1%) 29年12月期第2四半期 383百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	10.27	10.03
29年12月期第2四半期	19.83	19.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	12,686	6,500	50.2	515.42
29年12月期	9,984	4,851	47.6	386.11

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 6,367百万円 29年12月期 4,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	-	0.00	-	8.00	8.00
30年12月期	-	0.00	-	-	-
30年12月期(予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600	△2.9	610	21.8	610	△10.7	390	△5.1	31.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	13,410,297株	29年12月期	13,410,297株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	1,056,840株	29年12月期	1,105,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	12,329,234株	29年12月期2Q	12,066,235株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、朝鮮半島問題、米国発の貿易摩擦問題など、不安定要素があったものの、全体としては緩やかな回復基調が続きました。国内IT投資についても、IoTやAI、自動運転などのデジタルトランスフォーメーション投資を中心に堅調に推移しました。

このような環境の下、当社は以下の施策を実施して成長分野を中心に事業基盤の強化を図るとともに、昨年来続いている不採算プロジェクトの収束に努め、一定の成果を見ました。

- ① 組込分野における設計支援を行う連結子会社である株式会社エクスマーションの株式を東京証券取引所マザーズ市場に上場することが承認され、新たなステージで更なる発展へのスタートを切ることになりました。これにより、成長著しい自動運転等の設計支援業務の拡大に向けた体制強化等の同社の基盤整備が一層加速されることとなります。なお、エクスマーション株式は平成30年7月26日付にて上場済です。
- ② 資本業務提携先である、豊田通商株式会社の海外子会社であるTT Network Integration Asia Pte. Ltd.との間で、当社クラウドサービス「Fleekdrive」／「Fleekform」の代理店契約を締結し、ASEAN諸国へのクラウドサービスを展開するための拠点を確保いたしました。
- ③ 昨年資本参加を行った株式会社アックスと共同で、AIをビジネス活用することを目的とした機械学習及び推論システムに関するワークショップを開発し、その第1回として当社顧客である株式会社ビット・エイに対し、開催いたしました。本ワークショップを端緒として、今後は様々な方面でAIを活用したソリューションの開発を推進してまいります。
- ④ FinTech分野における提携・協業先の開拓・確保に努め、金融システムツールの開発、運用を行う株式会社ジーフィットとの資本業務提携契約を締結しました。当社は、今後、同社が運営するシストレアプリ運用サービス「シストレクラウド」の機能拡大等の開発面でシナジーを推進してまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、昨年来続いている不採算プロジェクトの影響が残ったことなどにより、前年同四半期比8.0%減の6,446百万円となりました。

セグメント別では、主業務であるソフトウェア開発事業の外部顧客への売上高は、金融業界向けSI／受託開発業務が減収となり、同9.0%減の6,246百万円となりました。デジタルサイネージ事業の外部顧客への売上高は、同38.1%増の200百万円となりました。

損益面では、グループ会社における製造業向けコンサルティング業務は好調でしたが、本体の不採算プロジェクトの影響により、売上総利益は同0.7%減の1,248百万円となり、販売費及び一般管理費が今後の業容拡大を睨んだ採用費増、内部体制強化のコスト増等により、同0.4%増の1,026百万円と嵩んだ結果、営業利益は同5.5%減の221百万円となりました。経常利益は、前年同四半期に計上した投資事業組合運用益が今期は僅少だったことから、同41.8%減の229百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額を含む法人税等107百万円を控除した結果、同47.1%減の126百万円となりました。

なお、資本業務提携先である株式会社エーアイの株式が東京証券取引所マザーズ市場に上場され、損益には反映されておりませんが、当社保有株式の評価替えを通じ、財務内容の改善に大きく貢献しております（「(2) 財政状態に関する説明」参照）。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,863百万円となり、前連結会計年度末に比べ770百万円増加いたしました。これは主に、資金調達の前倒し実施があり現金及び預金が増加したことと、ソフトウェア開発の進捗に伴い仕掛品が増加したことによるものであります。固定資産は5,823百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,931百万円増加いたしました。これは主に、保有していた非上場株式が上場し時価評価されたことにより、投資有価証券が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は12,686百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,701百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,988百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円増加いたしました。これは主に、季節要因により買掛金が増加したことによるものであります。固定負債は3,197百万円となり、前連結会計年度末に比べ882百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,052百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は6,500百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,649百万円増加いたしました。これは主に、非上場株式の上場に伴いその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.2%（前連結会計年度末は47.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,416,765	3,814,939
受取手形及び売掛金	3,119,768	2,261,523
商品及び製品	41,026	40,442
仕掛品	330,506	588,731
原材料及び貯蔵品	3,529	3,569
その他	181,409	155,127
貸倒引当金	△330	△794
流動資産合計	6,092,675	6,863,540
固定資産		
有形固定資産	566,320	557,388
無形固定資産		
のれん	143,000	121,000
その他	950,959	937,857
無形固定資産合計	1,093,959	1,058,857
投資その他の資産		
投資有価証券	1,323,167	3,535,082
繰延税金資産	438,909	80,408
その他	482,318	604,061
貸倒引当金	△12,394	△12,394
投資その他の資産合計	2,232,000	4,207,157
固定資産合計	3,892,280	5,823,404
資産合計	9,984,955	12,686,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	619,149	970,141
短期借入金	926,000	792,600
1年内返済予定の長期借入金	430,322	497,378
未払法人税等	205,057	111,889
賞与引当金	-	28,524
その他	637,951	588,459
流動負債合計	2,818,480	2,988,993
固定負債		
長期借入金	323,183	818,021
退職給付に係る負債	1,731,420	1,769,910
役員退職慰労引当金	207,481	218,031
その他	52,912	391,105
固定負債合計	2,314,996	3,197,068
負債合計	5,133,477	6,186,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,500	1,494,500
資本剰余金	1,734,862	1,724,052
利益剰余金	1,707,287	1,735,495
自己株式	△412,424	△394,363
株主資本合計	4,524,225	4,559,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	303,069	1,874,324
退職給付に係る調整累計額	△76,344	△66,836
その他の包括利益累計額合計	226,724	1,807,487
新株予約権	8,767	8,231
非支配株主持分	91,760	125,480
純資産合計	4,851,478	6,500,884
負債純資産合計	9,984,955	12,686,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	7,009,859	6,446,680
売上原価	5,753,368	5,198,531
売上総利益	1,256,491	1,248,148
販売費及び一般管理費		
役員報酬	208,180	214,715
給料	264,675	272,695
賞与	39,555	35,784
賞与引当金繰入額	6,116	6,429
役員退職慰労引当金繰入額	11,804	11,938
退職給付費用	13,621	13,340
法定福利費	61,436	63,060
地代家賃	49,377	54,026
支払手数料	62,031	74,242
のれん償却額	22,000	22,000
その他	283,332	258,378
販売費及び一般管理費合計	1,022,131	1,026,612
営業利益	234,359	221,535
営業外収益		
受取利息	8,176	5,344
受取配当金	5,058	5,535
デリバティブ評価益	5,125	—
投資事業組合運用益	145,663	200
補助金収入	1,554	7,400
その他	6,470	6,005
営業外収益合計	172,048	24,487
営業外費用		
支払利息	7,573	7,381
投資有価証券売却損	1,990	—
デリバティブ評価損	—	8,015
その他	3,092	1,616
営業外費用合計	12,656	17,013
経常利益	393,751	229,009
特別利益		
固定資産売却益	169	—
投資有価証券売却益	—	5,958
特別利益合計	169	5,958
特別損失		
固定資産除却損	16	119
特別損失合計	16	119
税金等調整前四半期純利益	393,904	234,848
法人税、住民税及び事業税	163,161	93,580
法人税等調整額	△9,552	13,879
法人税等合計	153,609	107,459
四半期純利益	240,294	127,389
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,071	742
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,222	126,646

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	240,294	127,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133,858	1,571,255
退職給付に係る調整額	9,641	9,507
その他の包括利益合計	143,499	1,580,763
四半期包括利益	383,794	1,708,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	384,188	1,707,410
非支配株主に係る四半期包括利益	△394	742

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	393,904	234,848
減価償却費	150,920	181,893
のれん償却額	22,000	22,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,385	10,550
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	63,347	52,193
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,588	28,524
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,040	464
受取利息及び受取配当金	△13,234	△10,880
支払利息	7,573	7,381
投資事業組合運用損益 (△は益)	△145,663	△200
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△5,958
デリバティブ評価損益 (△は益)	△5,125	8,015
固定資産除却損	16	119
固定資産売却損益 (△は益)	△169	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△349,823	849,488
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△151,745	△257,682
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,099	336,763
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△52,604	△24,668
その他	△83,013	△101,151
小計	△93,504	1,331,702
利息及び配当金の受取額	13,080	10,730
利息の支払額	△7,209	△7,558
法人税等の支払額	△104,777	△172,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	△192,411	1,162,025
投資活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の払込による支出	—	△10
有形固定資産の取得による支出	△7,469	△7,261
有形固定資産の売却による収入	197	—
無形固定資産の取得による支出	△171,663	△136,863
投資有価証券の取得による支出	△22,729	△55,860
投資有価証券の売却による収入	2,850	6,798
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
投資事業組合からの分配による収入	226,360	—
貸付けによる支出	—	△40,000
貸付金の回収による収入	527	425
その他	10,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	38,073	△132,772
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△93,000	△133,400
長期借入れによる収入	374,000	846,000
長期借入金の返済による支出	△356,995	△284,106
自己株式の売却による収入	96,806	20,788
自己株式の取得による支出	△246	△146
配当金の支払額	△95,662	△97,793
非支配株主からの払込みによる収入	—	36,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△15,600
その他	342	△3,252
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,755	368,490
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△229,093	1,397,743
現金及び現金同等物の期首残高	2,585,447	2,415,752
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,356,354	3,813,495

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、平成30年3月14日開催の取締役会において、本社移転に関する決議をいたしました。これにより、本社移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、移転予定日までの期間で減価償却が完了するように耐用年数を変更しております。

なお、この変更による、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への金額の影響は軽微なものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	デジタルサイネ ージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,864,568	145,291	7,009,859	—	7,009,859
セグメント間の内部売上高又は振替高	258	254	512	△512	—
計	6,864,826	145,545	7,010,372	△512	7,009,859
セグメント利益又は損失(△)	242,155	△8,308	233,847	512	234,359

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去512千円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間（平成30年1月1日～平成30年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	デジタルサイネ ージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,246,054	200,625	6,446,680	—	6,446,680
セグメント間の内部売上高又は振替高	116	1,394	1,511	△1,511	—
計	6,246,171	202,020	6,448,191	△1,511	6,446,680
セグメント利益又は損失(△)	234,855	△14,830	220,024	1,511	221,535

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去1,511千円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。